



Part 2 ステロイド軟膏は怖い？

平谷こども発達クリニック 中西 康子さん

TEL.0776-54-9600

住所 福井市北四ツ居2-1409



【Profile】

平成5年 大阪府立看護短期大学卒業
大阪府立羽曳野病院小児科
(現 府立呼吸器・アレルギーセンター) 勤務

平成12年 とよしま小児科 (大阪市) 勤務

平成18年 平谷こども発達クリニック 勤務

教えて！

子どものアレルギー

今回は軟膏についてお話ししましょう。

湿疹に使用される軟膏は主に4種類に分類されます(図参照)。ステロイド軟膏は、アトピー性皮膚炎の治療が確立していない時代に沢山使われ、多くの副作用がでたため、お母さんたちから悪いイメージを持たれていました。しかしステロイド軟膏は正しく使用すれば安全であり、今日ではステロイド軟膏が治療の主流となっています。反対に非ステロイド軟膏はステロイド軟膏のような副作用はないものの効果が弱く、皮膚の発赤や火照りなどの副作用がないわけではない為、あまり使われなくなりました。治療に大切なことは、素早く改善し良い状態を維持し、痒みを抑えて掻かないようにすることです。

また湿疹が長く続くと、よくなるまでに時間を要します。まずはステロイドでさっと良くしてから(乳児では数日単位)、その後、徐々に軟膏のレベルを弱くしていき、良い時期は保湿剤で維持をします。結果として、湿疹の出ている期間、痒みに悩

図

ステロイド軟膏	炎症を抑える効果が強いが副作用もある
非ステロイド軟膏	副作用は少ないが炎症を抑える効果は弱い
保湿剤	保湿効果を期待する(炎症を抑える効果はない)
プロトピック	炎症を抑える効果があり、ステロイドの副作用がない。湿疹のひどいときに使用すると刺激を感じ易い

まされる期間が短く、ステロイド軟膏を使用する総量も少なく済みます。ただし、正しく使用するためには定期的を受診をしていただいて、今何を塗るべきなのかを相談していただきたいと思います。

どうしてもステロイド軟膏に抵抗のあるお母さん方、病院で納得いくまで質問を投げかけてください。

次回は軟膏の塗り方についてお話ししましょう。